

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	119-1 国際交流推進事業(多文化共生事業)	会計	01	一般会計
基本	55 外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
		目	07	文化振興費
	1 多文化共生社会の構築	細目	102	国際交流推進事業
		細々目	01	国際交流推進事業
基本計画該当頁		188		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 040200 名称 企画振興部文化国際課	評価者氏名	森本 勝美	連絡先 22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内在住の言葉や文化の壁を持つ外国人 在住外国人とコミュニケーションを図りたい日本人 (※対象件数)	言葉の壁等の障害が確認され、軽減される。 共通の問題として把握し、悩みを解決することで、在住外国人が安心して生活できる。共通する自治会等の問題として把握し、解決することで在住外国人と日本人とのトラブルが減る。 在住外国人の問題を把握し、市政に反映することができる
根拠法令・要綱等	伊賀市外国人住民協議会条例
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	三重県国際化推進指針(平成19年3月策定)
事業内容	通常業務として文化国際課内にて多言語での生活相談実施。 本庁舎玄関ロビー及び市内大型店舗にて在住外国人への生活オリエンテーション及び多言語生活相談実施。 伊賀市外国人住民協議会を4回開催した。 雇用情勢の悪化のため臨時に年末に2回多文化共生相談実施。
状況変化等	秋以降に急激に経済状況悪化、それに伴い相談件数増加、21年2月より、2名通訳雇用

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
多文化共生相談の実施(回/年)	回数	目標 35 実績 43	目標 40 実績 37	40	40
多言語広報誌の配布(部/月)	部数	目標 1,100 実績 1,500	目標 1,500 実績 1,600	1,650	1,700
多言語広報誌の設置箇所数	箇所	目標 50 実績 107	目標 110 実績 110	115	115

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
オリエンテーション・相談者数	事業内容の周知徹底を図り、来訪者を増やす	人	目標 750 実績 775	目標 800 実績 1,743	900	1,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	言葉の問題、文化や生活習慣などの違いから起こる問題の解消、雇用情勢の悪化による解雇等の不安の解消のため多文化共生相談がますます重要となっている。
有効性	4	多文化共生相談・日常生活相談を行ったことにより、在住外国人に安心感と幅広いニーズの情報提供ができた。また、雇用情勢の急速な悪化により、相談者が急増したが年末に臨時相談を設置した、さらに、2月より臨時職員2名の雇用により対応できた。
達成度	3	ほぼ計画通り達成できた。
効率性	4	生活オリエンテーションにおいては、NPO団体へ委託し、NPO団体、伊賀市国際交流協会と市の協働で実施することでコスト削減が図れている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	協働事業から市単独での実施により、市としての姿勢を示していく。緊急雇用により通訳を雇用することにより市単費の削減を図る。

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容			
		事業内容	数量	金額																
委託 工事	事業内容	報酬		(千円) 1,692	報酬		(千円) 2,129	報酬		(千円) 3,185										
		共済費		204	共済費		211	共済費		582										
		報償費		444	賞金		398	賞金		2,896	賞金		3,122	賞金		3,122	賞金		3,122	
		旅費		129	旅費		260	旅費		373										
		筆耕翻訳料		13	筆耕翻訳料		22	筆耕翻訳料		25										
		負担金		172	負担金		100	負担金		200										
		消耗品費		102	積立金		43	消耗品費		67	消耗品費		30	消耗品費		30	消耗品費		30	
		燃料費		19	その他		32	積立金		38										
		その他		62	その他		92													
		進捗率(%)			事業費計(A)	Σ	2,837	事業費計(A)	Σ	3,195	事業費計(A)	Σ	7,404	事業費計(A)	Σ	7,647	事業費計(A)	Σ	7,647	事業費計(A)
事業投入人員		人件費(B)	0.8	人 5,760																
フルコスト(A)+(B)				8,597			8,955			13,164			13,407			13,407			13,407	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	2,837	3,195	7,404	7,647	7,647	7,647
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金			3,300	3,520	3,520	0
地方債						
受益者負担						
その他	47	43	38	38	38	38
一般財源	2,790	3,152	4,066	4,089	4,089	7,609
計	2,837	3,195	7,404	7,647	7,647	7,647
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	国際交流基金利子 47千円	国際交流基金利子 43千円	国際交流基金利子 38千円	国際交流基金利子 38千円	国際交流基金利子 38千円